



オオシロガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i> Franch. et Sav. var. <i>spiralis</i> Ohwi	準絶滅危惧
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の多くは生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村長昭義)
形態の特徴	1年草。密に叢生して株となり、高さ10-25cm。基部に稈より短い葉を少数つける。花序は頭状で球形、苞葉は2-4枚で花序より長い。小穂は密生し扁平にはならない。8-10月に熟す。	
生態的特徴	日当たりの良い池の水際にはえる。	
分布状況	本州と四国に分布する。岐阜県では県南中部に分布する。	
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。	
保全対策	湿地の保護、保全、ため池改修時の生育環境維持活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成